

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（10月分）

留学先大学：ハンブルク大学

氏名：長田優輝

こんにちは、長田優輝です。



今月からようやく大学が始まりだし、新しい留学生たちもハンブルクにやってきました。やはりドイツに留学に来る学生のほとんどはドイツ語が目的であるような人が多い印象であった。その中で言語が目的でない自分にとっては多少アウェイな感じがしなくもない。留学生の中には目的が明確ではない学生も多いが、周りが言語面を中心に活動していたり、ドイツに来たならドイツ語をやらなければいけないといった雰囲気でなんとなくドイツ語をやってる風にも見える。

交換留学≠語学留学

交換留学は語学留学ではない。ドイツに来たからと言ってドイツ語をやるという雰囲気が私は好きではない。何もやらないよりはましだとは思いますが、やりたいことをやらずに「せっかく」ドイツに来たのだからと、活動を知らず知らず制限している。交換留学は単純に通う大学が変わるだけで、本来あまり変わらない。大学での活動に重点を置いてもいいし、また課外活動に重点を置いてもいい。学ぶ環境が変わろうと、学びたいことを学ぶのが大学ではないのだろうか。

何が将来に役に立つかは分からないが、今自分がやりたくないことは将来やらない可能性が高い、今やりたいこと、将来やりたいことに関係することをやればよいと思う。ドイツにいて活動をしている以上、たとえそれが日本でもできる活動であってもそれはドイツでしかできない活動であると思う。必要以上に「自分はドイツにいる」ということを考えない方

がいいと思う。無駄に自分の活動を制限してしまう。日本人は集団を好む傾向があるため、周りがやっていることをやらなければと思いがちであるが、それこそ「せっかく」留学しているのもったいないと思う。誰が何をしようとして自分がやりたいことをやるのが一番の留学であると思う。



今月は PBL の活動が非常に充実していた。関係者の方たちとゆっくりお話ができる機会が多く、貴重なお話を聞かせていただいた。さらになんとドイツで栗拾いをすることもでき、おいしい栗ご飯を頂きました。



帰国日も決まり、留学の終わりが見えてきた。残りの留学生活も自分らしくやっていこうと思います。

ではまた。